時事新報

電氣鐵道の計畫斷行す可し

東京は人口の割合に面積方外に廣くして市內の往來交通に無益の時間を費し商賣上其他の不便利少なからざれば後來の繁盛を謀らんには何は扨置き普く市內の各處に電氣鐵道を敷設して以て迅速輸送の路を開くに若かずとの次第は過般來、每度時事新報に論述したる所にして此立言に向ては世間恐らくは一人の反對者なかる可しと我輩の竊に心に期したる所なるに何ぞ圖らん曩に組織せられたる彼の電氣鐵道調査委員會に於ては利害の議論頗る喧しく數回討議の末、辛うじて或究竟なる條件の下に許可を與ふることに一決したる由なれども尙は市區改正委員會を始めとして其他にも中々頑固なる反對說を抱く人少なからざれば東京に於ける電氣鐵道の運命は未だ不安心の境界を脫したるものにあらずと傳ふる者あり近代文明の利器中最も便利最も有力の聞ある電氣鐵道を日本の首府に採用せんとするに當り苟も社會の上流に位して一通の學識もありと稱せらるゝ人々が空しく反對說を唱へんとは實に案外なる次第にして之を大にしては國の名譽にも關する事柄なりと我輩の甚だ悅ばざる所なり今その反對の理由を聞けば市の美觀を損するの恐ありと云ひ又は消防の妨害たる可しなど種々樣々の說あるよしなれども實は其人々に於ても電氣本來の性質を研究して之を鐵道に應用するの方法を講じ學問上に實地上に利害の在る所を詳にしたるものとは思はれず唯その事の新にして奇なるが爲めに之を怪しみ他日若し不都合の生ずることもあらんには其責任者は即ち今日之れを許可したる者なり左りとは安からざる次第なりとて兎角新奇を避けて平穩無事を祈り俗に云ふ當らずさわらずの心よりして自然に冷淡なるものにてもあらんは固より我輩の推測なれども若しも此推測にして違ふことなくんば我輩はます〳〵失望せざるを得ず抑も電氣鐵道なるものゝ始めて實用に供せらるゝに至りしは僅に三五年前の事なれども此三五年間殊に最近一年間に其進步發達せしとは實に驚く可き程にして今や歐米諸國は正に電鐵時代に足を踏込みたるものと云ふも過言にあらず試に文明の利器を採用するに最も迅速鋭敏なりと知られたる米國に於ける電氣及び馬車鐵道の盛衰如何を尋るに最近の調査左の如し

	電氣鐵道哩數	馬車鐵道哩數
千八百九十年	二千五百二十二哩	五千四百哩
千八百九十一年	四千六十一哩	五千三百二哩
千八百九十二年	五千九百卅九哩	四千四百六十哩
千八百九十三年	七千四百六十六哩	三千四百九十七哩
千八百九十四年	九千哩	未詳

右の如く電氣鐵道の哩數は年々益す增加する其反對に馬車鐵道は次第に其哩數を減縮しつゝあるを統計表に照して明なり此勢を以て進行くときは米國中に一線の馬車鐵道を見ざるに至るも遠きにあらざる可しと云ふ左れば電氣鐵道が馬車鐵道に比して遙に便利なる事は最早や確然たる事實にして唯此上の[illegible]は[illegible]道も亦馬車と同じく電氣の爲めに壓倒せらる可きや否やの一事なれども學者社會の[illegible]に[illegible]競爭に於ても結局の勝利は必ず電氣に歸するものと認めて間違なきが如し世界の大勢にして既に斯の如くなる以上は我國と雖も亦其影響を蒙りて遠からず國中到る處に電鐵熱の勃興す可きは分り切つたる次第なり今日に於てこそ東京の八百八町に電氣鐵道など云へば何か耳新らしく不安心の如くに思はれて隨て其計畫に故障を容るゝ者あるも世間に咎めらるゝことなしと雖も今後數年を經過して世人が一般に新事業の便益を了解するに至れば今日得々として反對說を唱へつゝある人々の無識頑愚は實際に表白して掩ふ可らず彼等は前年曾て東京市民の利益に反對したる者なり文明の進步に抵抗を試みたる者なりとて永く世の中の笑の種にせらるゝ其有樣は人力車の將さに行はれんとせし時に態と駕籠に乘り斷髮流行の最中に尙はチョンマゲを戴く者に等しく路傍の小供にまで指さゝれて唯時候後れの評判を博す可きのみ左れば此事業に反對するは啻に一市公共の不利のみならず反對者自身の爲めに謀りても私の外聞宜しきものと云ふ可らざるが如し文明進步の大勢は之を留めんとして留む可らず既に其留む可らざるを知らば斷じて之を推進するこそ公私の利益なれ我輩は飽くまでも上流士人の勇斷を勸告する者なり

雜報

○戰地死亡者

遼東半島其他の地方に於て陸軍軍人の病死者左の如し

二十八年五月十日盛京省狩子窩舍營病院に於て病死　陸軍輜重輸卒　岡山縣與島郡新庄村　竹田仁作
同年五月十日同省柳樹屯兵站病院に於て病死　陸軍步兵一等卒　愛知縣渥美郡清田村　永井繁吉
同年五月十一日同省金州兵站病院に於て病死　陸軍砲兵少佐　京都市上京區第二十八組金屋町　竹中經義
同年五月十二日同斷　陸軍步兵一等卒　三重縣南牟婁郡阿田和村　宇井虎松
同年五月十二日盛京省海城第一舍營病院に於て病死　陸軍步兵二等卒　愛知縣西加茂郡淺野村　竹尾鐐吉
盛京省九連城に於て發病還送後二十八年五月十二日廣島陸軍豫備病院に於て病死　陸軍砲兵上等兵　高知縣安藝郡馬ノ上村　竹崎悅之助
二十八年五月十三日朝鮮國釜山兵站病院に於て病死　陸軍步兵大尉　同縣高知市字鷹ノ下　福富孝元
同年五月十三日同國忠淸道忠州に於て病死　陸軍步兵一等卒　香川縣山田郡坂ノ上村　三木彌八
同年五月十三日盛京省沙家屯舍營病院に於て病死　同　兵庫縣赤穗郡新濱村　住吉定吉
同年五月十四日同省狩子窩北方勝家屯に於て死亡　同　滋賀縣神崎郡御園村　山田鶴吉
同年五月十五日同省沙家屯舍營病院に於て病死　同　鳥取縣八橋郡古市村　山本長松
同年五月十五日同省金州兵站病院に於て病死　陸軍輜重輸卒　京都府紀伊郡吉祥院村　山中梅吉
同年五月十八日同省柳樹屯兵站病院に於て死亡　陸軍步兵一等卒　愛知縣名古屋市古渡町　大嶋鍋太郎
同年五月十九日朝鮮國元山に於て病死　陸軍步兵二等卒　福井縣今立郡下新庄村　福岡八之助
盛京省九連城に於て發病還送後二十八年五月二十三日廣島陸軍豫備病院に於て病死　陸軍步兵一等卒　高知縣安藝郡中野村　吉田直市
同省草河口に於て發病還送後同年五月二十六日松山陸軍豫備病院に於て病死　陸軍步兵二等卒　愛媛縣西宇和郡四ツ濱村　三好國次
同省同所に於て發病還送後同年六月二日同斷　陸軍步兵一等卒　高知縣土佐郡鏡村　氏原楠次

○鳳凰城の近況　(七月十二日附)

●遼東地方の寒暑●　遼東地方は寒暑共に酷烈なりとは豫て聞き及びしが寒は已に去り暑は如何にと案じ煩ひしに當城近邊は幸ひにも山間の地にして地勢高燥、樹木繁茂し空氣淸凉なるを以て現今にては暑も酷烈と云ふほどにあらず六月中旬頃は寒暖計九十五六度に昇りなかく凌ぎ難かりしも目下大に減退して朝夕は冬服を纏ふも左まで苦しからず土民に聞けば當地方は六月末より七月一杯を雨期と稱し降雨屢は有りて空氣濕り氣候は恰も三四月頃の如く而して八月に至れば再び炎暑となり一年酷暑の候は則ち八月なりと云へり果して然るや否や知り難きも目下降雨頻繁にして氣候の不順なるは土民の言の如しと云ふべし

●罹病者尠からず●　降雨の日は甚だ涼しく晴天の日は甚だ暑く兎角氣候不順なれば病氣に罹るもの多く當城內の家屋にして病院病室に充てらるゝ者は悉く患者を以て滿されたり病症は赤痢、腸加答兒、脚氣等にして其痢病類似の患者多きは風土、食物、運動の欠乏等樣々の原因あるべしと雖も其主因は家屋にありて存するものゝ如し當地の家屋は每戶坑なるものを設け薪を燒きて冬期は暖氣を取り夏期は濕氣を防ぐ仕掛となせり然るに軍隊は薪炭の乏しきが上に暑氣に堪へがたきより之を焚かざるを以て濕氣自然に身體を害し斯くは許多の患者を出すなりと云ふ

●コレラ病患者●　コレラは第二師團、第五師團と交代守備隊として來城せしより以來ポツ〳〵發生し來り六月下旬に至りては其勢ひ猖獗にして日々七八人乃至十餘人の患者を出せり依て新に檢疫所を設け日夜撲滅に力を盡し又避病院を郊外の民家に立てしも患者多くして悉皆容るゝこと能はず故に十二間のバラック三棟を新築せりコレラ患者は土民には甚だ少く通例日本人十八に支那人一二人の割合なるが其の上支那人は大概全治するも日本人は大方死亡せり此は素より支那人に衞生上の注意あるにあらざれども其飮食物は古來の習慣上煮沸せるものを用ふるに日本人は此點に多く不注意なると次ぎは精神上支那人は痢病の恐るべきを知らざるのみならず殆ど無神經にして偶々病氣に罹るも自己の神經の爲めに病勢を增すが如きことなきとに原因するなるべし

●民政支部の注意●　民政支部にては最初より斯る慘狀なからしめん爲め大に衞生上に力を盡し五月以來市街の掃除、道路の修繕等に日々支那車七八十輛人夫百人餘を使役し一日の賃錢百圓より三百圓を支出し百方盡力せしも無形の敵を平ぐること能はず見事失費を蒙りしも當局者は鋭意專心力を撲滅に致し居れば遠からず其跡を絕つに至るべし

●農商業の景況●　當地方の農業は所謂大農法にして牛馬を使役し人力を用ふることなく又田畑に畦畔なく土民の耕作する狀甚だ呑氣なれども能く耕作して成效宜しく大に見るべきものあり殊に驚くべきは目下戰時の後を受け人心未だ收まらざるに到る處耕作に從事し舍營內耕地の如きは悉く耕耘播種を了り黍、玉蜀黍、大小豆等盛んに成長し居れり商業は彼等の最も長所とするところにして初めは市場にて僅に飮食物杯を販賣するのみなりしが現今は破壞の家屋を修繕し先づ比較的には立派に開店するに至れり店舖は何れも大袈裟にして家屋の廣大なるは勿論店頭の體裁も夫の西洋商店の體裁と略ぼ相似たり而して各舖とも重なる商品は白金巾次は白木綿、藍色木綿及び紙、絲類にして此等は皆な營口より輸入し來るなり我が商店も一時は十五六軒ありしが其店舖の構へは極めて狹隘にして且つ萬事不整頓なれば利を射るに鋭き支那人に對しては到底競爭すること能はざるが如し

○獨逸親疎を異にせんとす

ある英國新聞の伯林通信員は獨逸の形勢次第に變じ來りしを報じて云く三國相ひ提携して日本に干渉せしは外交上の一變體にして英國政府の之に加はらず局外に超然たりしも此上もなき長計なりしなれ今日に至て獨逸は露國に賣られしを疏り頻りに前日の非を後悔し英國の思慮深遠なるを慕ふ氣色漸々見はれるゆゑ從來英國を疎んじ絕て念頭に掛けざりし獨逸の政治家も是れより意向を一變し露を棄て追々英と親み以て國威を維持せんとするに力を盡すなる可し
北獨逸新聞は
は無識なりしと譏
の將校は果して佛國
の興を妨げ惡感情を
公言せる趣意を體
しと論じたる上に
とする時に連合して
々鞏固にして獨逸を
極の舉動我皇帝の
意に悖りしのみか面
る恥辱を蒙らせたる
申條にて我輩は此攻
るなりと云々

○歐洲諸銀行の

ポスト　エキスプ
洲諸國の銀行が競つ
行の金塊貯藏高を記
からず今や未曾有の
英蘭銀行●の五月末
一億八千二十三萬七
れば殆ど二千萬弗
年前に對すれば六千
佛蘭西銀行●　五月の
十二萬七千五百五十
じたりと云へ共尙は
前々年に比すれば七
一億千五百萬弗の增
墺地利匈牙利銀行●
百三十九弗にして昨
昨年に對照すれば一
に比すれば三倍以上
獨逸帝國銀行●　金塊
億五千九百二十五萬
りは四千六百萬弗
りとす
白耳義銀行●の貯
づ以て一定不動の狀
百二十五萬二千百三
弗三年前より三百萬
和蘭銀行●は近頃少
十三萬千五百九十三
千八百十九弗に下り
は五百萬弗の增加な
西班牙銀行●　同行の
なく本年五月は三千
て昨年に比し四十萬
又同行の貯藏高は
せり
伊太利銀行●の庫中
十七萬七千二百弗に
前よりは千七百萬弗
增加なり
露西亞銀行●の金貯
二億七千四百弗に
なり
右九銀行に於て貯藏

○各地汽車
新橋發(下り)午前五時二十分、七時三十分(横須賀直行)、八時、九時二十分
新橋發(上り)